

中部経済学インターゼミ報告

地域の観光資源がもたらす経済 効果と活性化に向けた提言

—富山県朝日町の事例—

富山大学経済学部 中村和之ゼミナール

分析の目的

- 日本の人口は減少傾向にあり、それは地方の都市ほど顕著になっている。
- 現在富山県朝日町では人口減少や高齢化など多くの問題を抱えており地方創生が重要な政策として挙げられている。
- そんな朝日町の課題に対して、地域活性化のために朝日町にある観光資源からどのような経済効果が見込めるのかを調査し、朝日町にもたらす影響から今後の経済発展について提言する。

本報告の構成

1. 富山県朝日町の概要と課題
2. 「春の四重奏」は観光資源としての価値を有しているのか？
3. 「春の四重奏」は所得の創出に貢献しているのか？
4. 「春の四重奏」を活用した朝日町の活性化
5. 参考文献

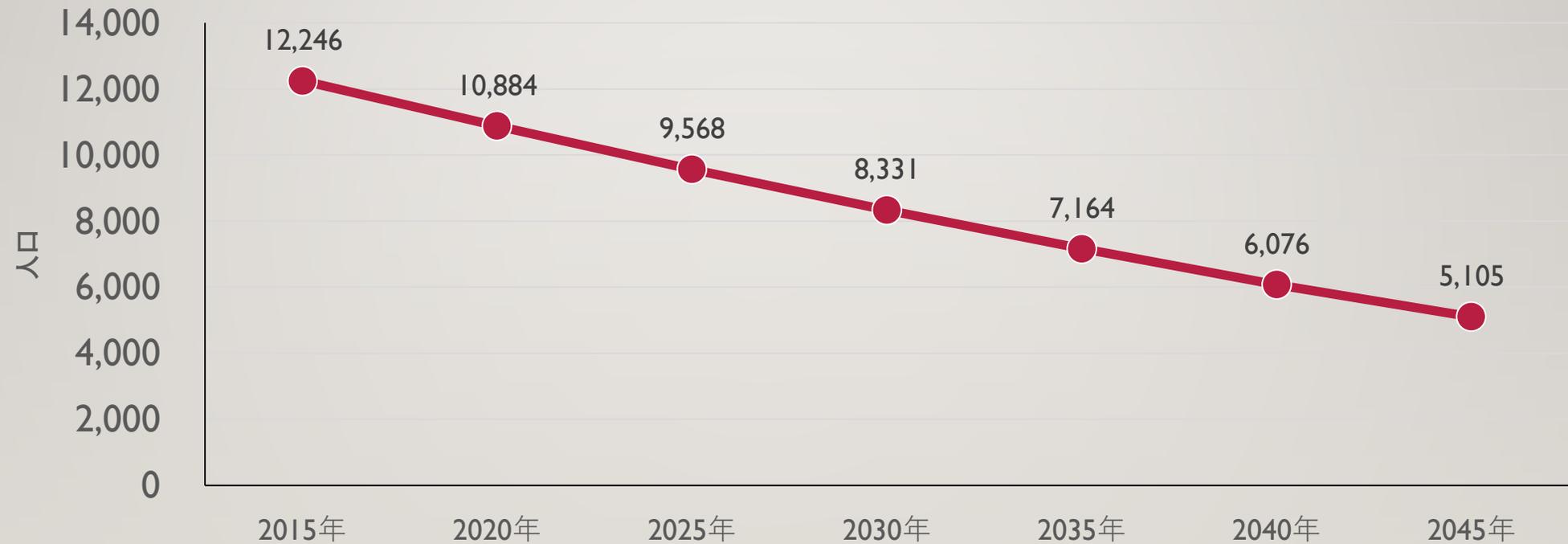
1. 富山県朝日町の概要



総人口：11,355人
世帯数：4,723世帯
高齢化率：44.3%

朝日町の人口推計

(国立社会保障・人口問題研究所)



朝日町の課題

朝日町(2021)「地方創生と環境」(地方創生環境学資料)より

- 人口減少 高齢化
- 出生率の低下、高齢化率の増加
- 担い手・後継者不足
- **観光の推進、関係人口の創出**

観光資源を活用して朝日町の活性化を図ることはできないか？

朝日町の二大観光資源

- ヒスイ海岸（主に夏季）
- あさひ舟川 春の四重奏（主に春季）

・ヒスイ海岸



（出典：富山県朝日町HP）

・あさひ舟川 春の四重奏



（出典：富山県朝日町HP）

今回はこちらに注目

本研究でのアプローチ

- 朝日町の二大観光資源の一つである「**春の四重奏**」に着目
- 「春の四重奏」は観光資源としての価値を有しているのか？
 - **Google**トレンドにおいて、「春の四重奏」の月次別注目度の違いを考える。
 - 旅行費用法を用いて、来訪者が得ている消費者余剰を分析し、「春の四重奏」の観光地としての価値を算出する。
 - 来訪者に対するアンケート調査を行い、訪問者の属性や滞在時間などを分析する。
- 「春の四重奏」は朝日町における所得の創出に貢献しているのか？
 - 「春の四重奏」の来訪者の町内での支出額を調査し、町内の消費に与える影響を分析する。
 - 産業連関表を基に、来訪者の町内における支出の波及効果を推計して、その町内経済に対する波及効果を明らかにする。
- 得られた分析結果に基づき、「春の四重奏」を活用して町内の活性化を図る際の問題点や課題を抽出する。
- 課題を踏まえた政策や施策のあり方を提言する。

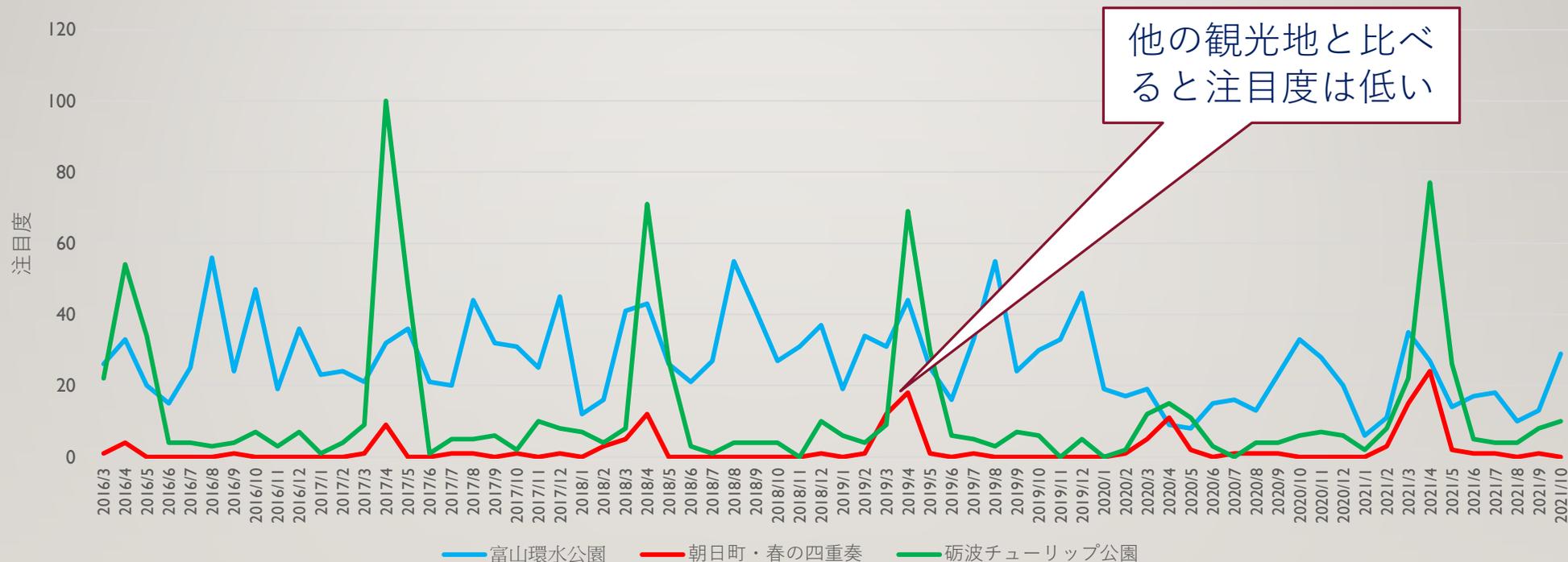
2. 「春の四重奏」は観光資源としての価値を有しているのか？



Google Trendでみた月次別の「春の四重奏」への注目度



富山県内の他の観光地と比較したGoogleトレンドでの注目度



注目度の分析から見た「春の四重奏」の特徴

- 4月の桜のシーズンに限定された注目度
- 富山県内の他の観光スポットと比較しても注目度は低い
- ただし、コロナ禍にもかかわらず注目度は回復している

旅行費用法を用いた消費者余剰の推計

- 旅行費用法（**Travel Cost Method**）
 - 訪問型の観光地や施設に対する需要を、来訪者の訪問費用（交通費）を価格と考えて推計する方法
- 旅行費用法を用いて推計した需要関数に基づき消費者余剰を求め、春の四重奏が持っている観光資源としての価値を明らかにする

分析に用いたデータ

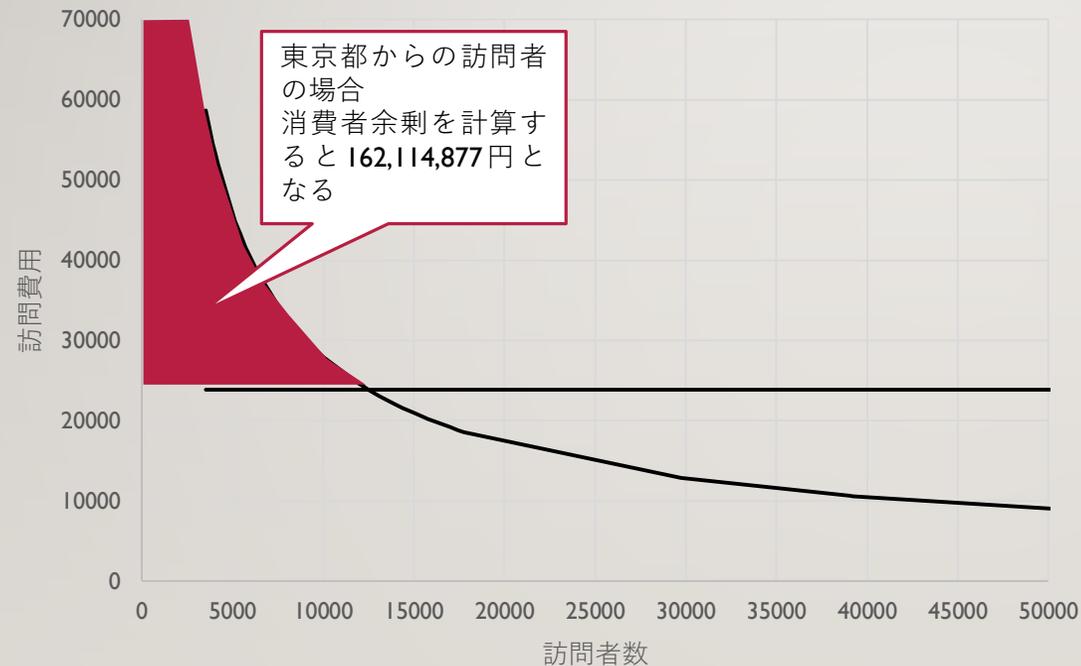
- 2021年4月のシーズンに春の四重奏来訪者に対してアンケート調査を実施（2659名）
 - 訪問者の属性（年齢や居住地他）を尋ねた
 - 朝日町商工観光課が実施した来訪者調査の結果も利用
- 来訪者の都道府県別に朝日町までの交通費（旅行費用）を求め、都道府県別の訪問頻度を被説明変数、旅行費用を説明変数として回帰分析を実施
- 推計した需要関数

$$\ln X = \alpha + \ln P$$

- X :=都道府県別の訪問頻度（=訪問者数÷人口）、 P :=旅行費用
- 分析の結果

	係数	t	P-値
切片	23.600	12.734	2.1127E-13
LN往復での電車の金額	-2.405	-13.077	1.09252E-13

消費者余剰の推計



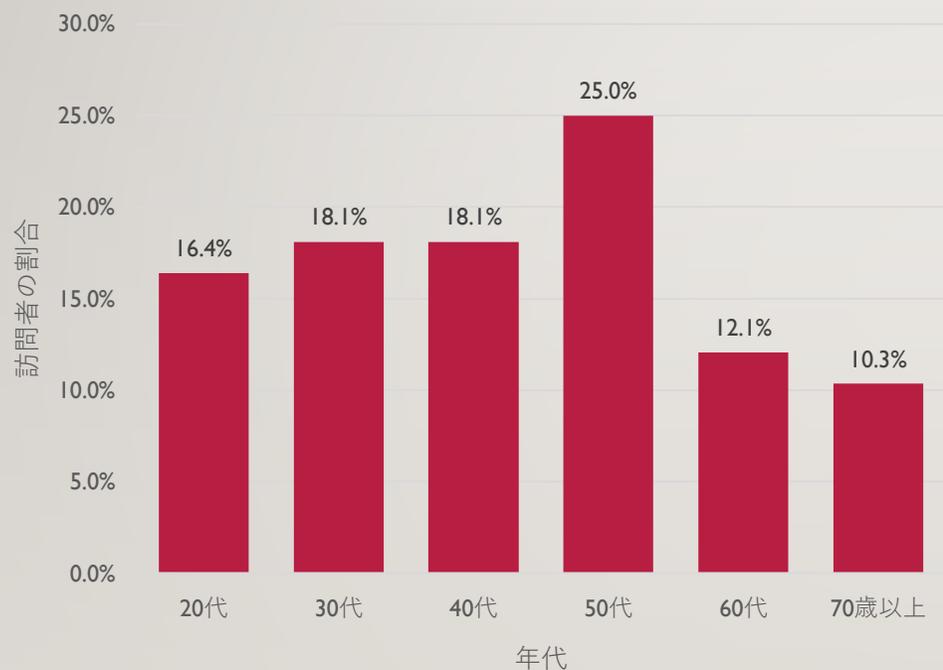
- これを全都道府県分を求め合計すると、「春の四重奏」にかかる消費者余剰は623,844,000円（約6億2千万円）である。

春の四重奏のシーズンが10日間程度であることを考えれば、十分に大きい！

来訪者・事業者アンケート調査の概要

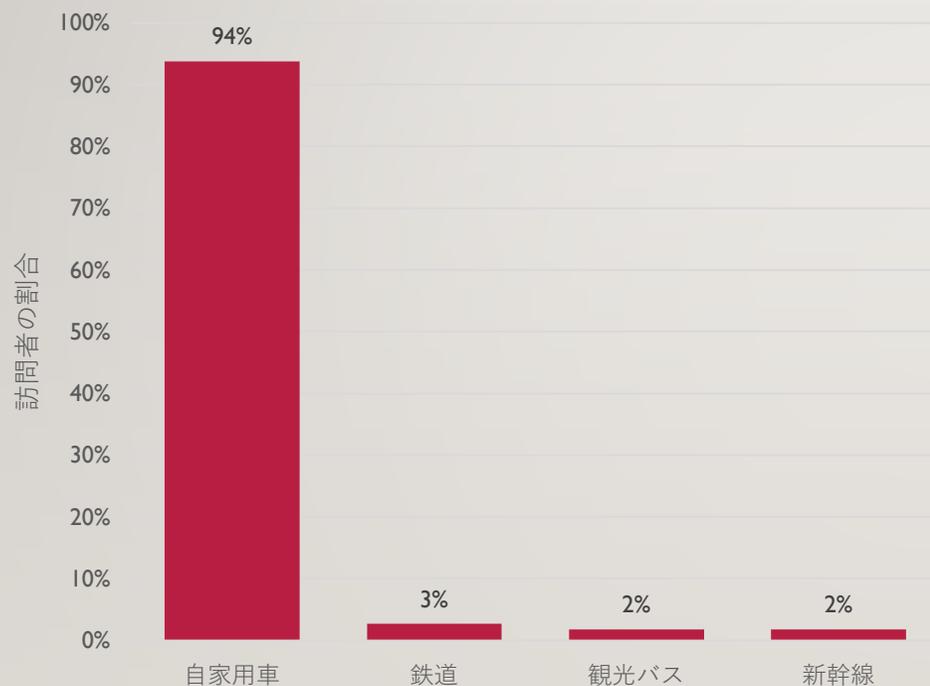
- 春の四重奏会場にてアンケートを実施
 - 実施日：4月3日、4月4日、4月10日（夜間かがり火）
 - アンケート調査実施者：富山大学中村ゼミ、朝日町企画財政課
 - アンケートの対象：来訪者、事業者
 - アンケートの方法：アンケート用紙を作成し、対面で聞き取り

年代別来訪者数 (N=116)



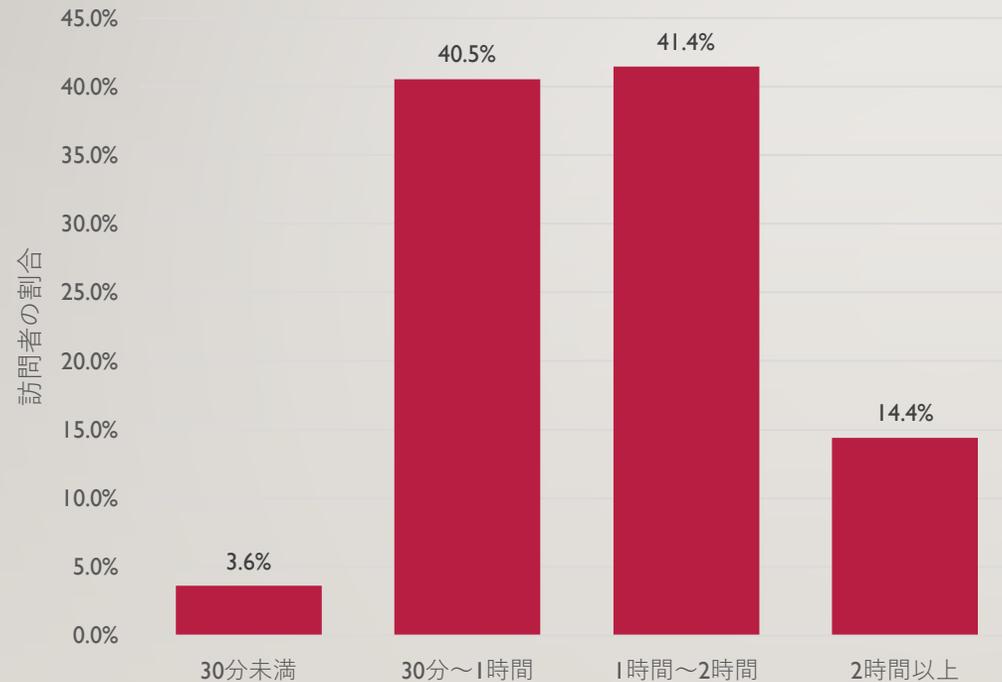
- 幅広い年代の来訪者
- 60代以上の高齢者が少ないのはコロナの影響かもしれない

来訪者の交通手段 (N=112)



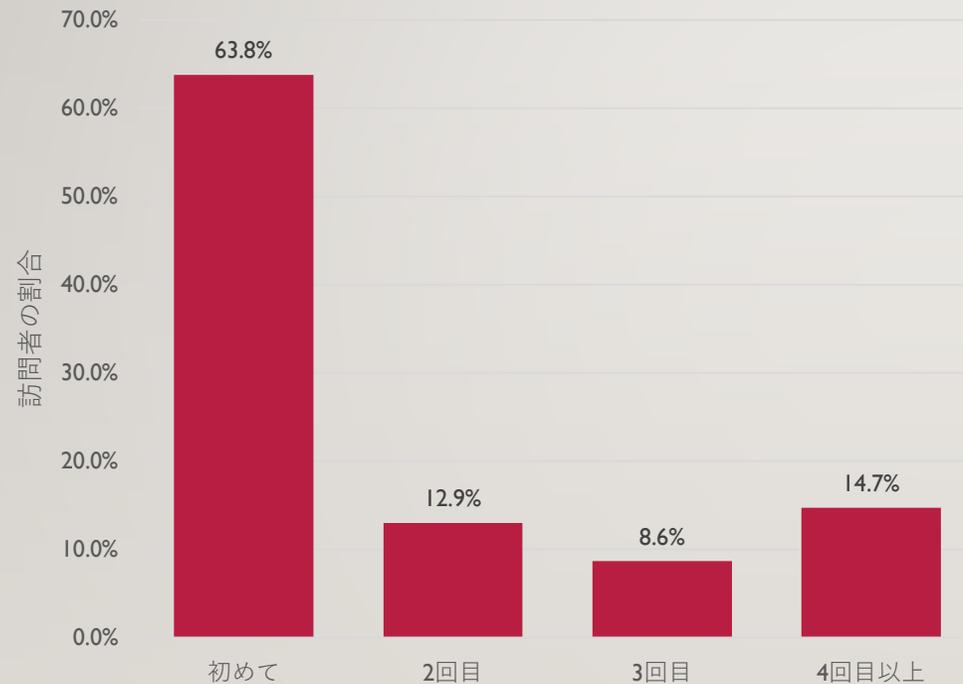
- 臨時駐車場が設けられ無料で春の四重奏へ入り込める
- ほとんどが自家用車

春の四重奏での滞在時間 (N=111)



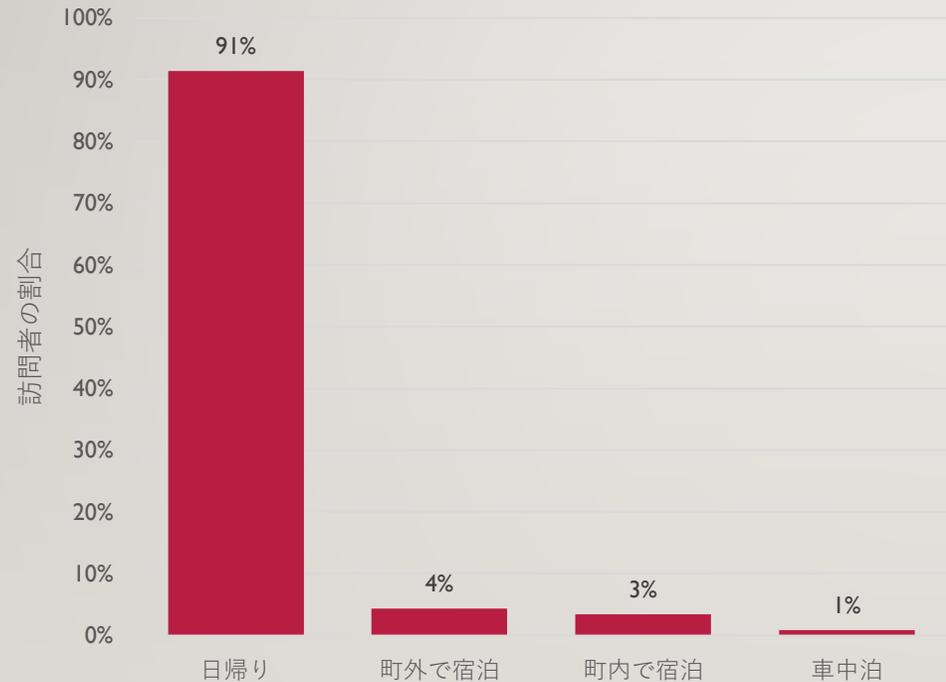
- 来訪者の滞在時間が短い
- 40%を超える来訪者の滞在時間が1時間以下

春の四重奏の来訪回数 (N=116)



- 来客者の6割以上が初めて
- リピーターは全体の4割にとどまる

宿泊するか (N=116)

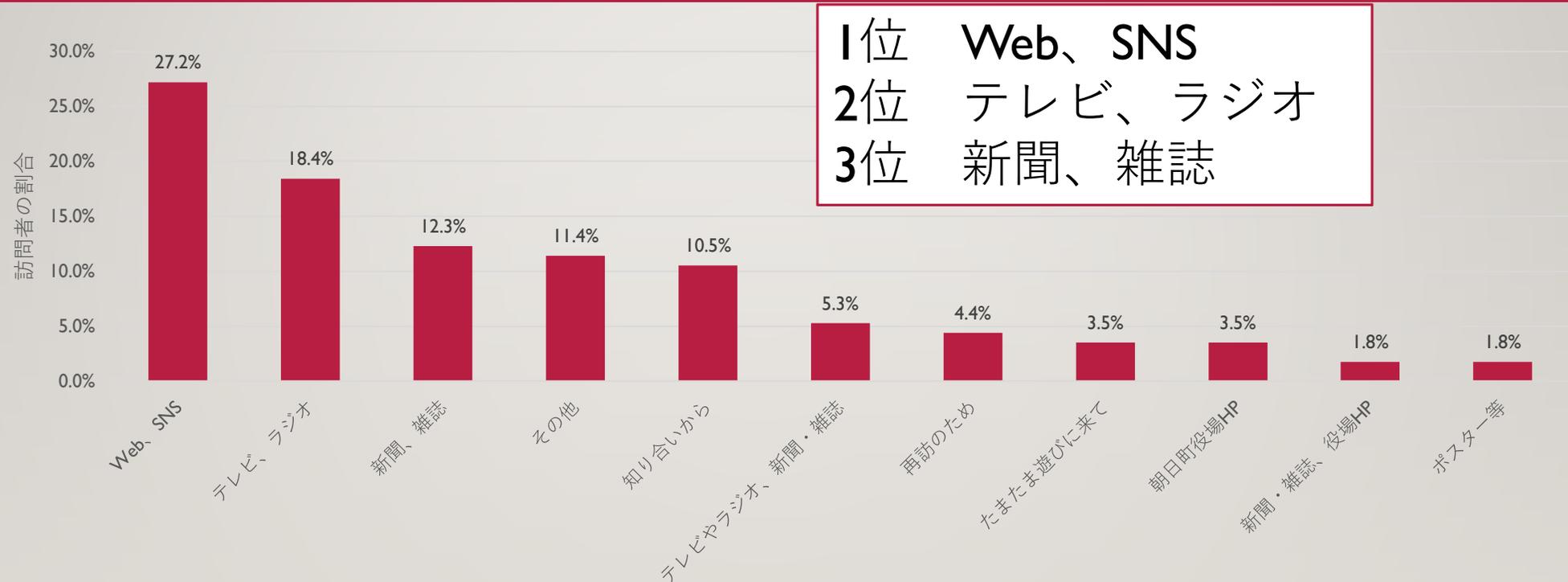


日帰りがほとんど



現状宿泊での発展は
難しい

どこで春の四重奏を知ったか (N=114)



アンケートで集まった意見

- ここで売っているといいものを聞いたところ次の意見が集まった
 - あさひ町産の食べ物、ここでしか食べられないもの
 - 飲み物、温かい飲み物
 - 弁当
 - 食べ物がもっとあればいい
 - 自販機
 - トイレ
 - お土産
 - 子供が好きそうなもの
 - サービスエリアにあるようなもの
 - 四重奏カラーのデザート
 - 切り花、チューリップの花
 - 四重奏の写真

飲食の需要が特に多い

「春の四重奏」の観光資源としての可能性

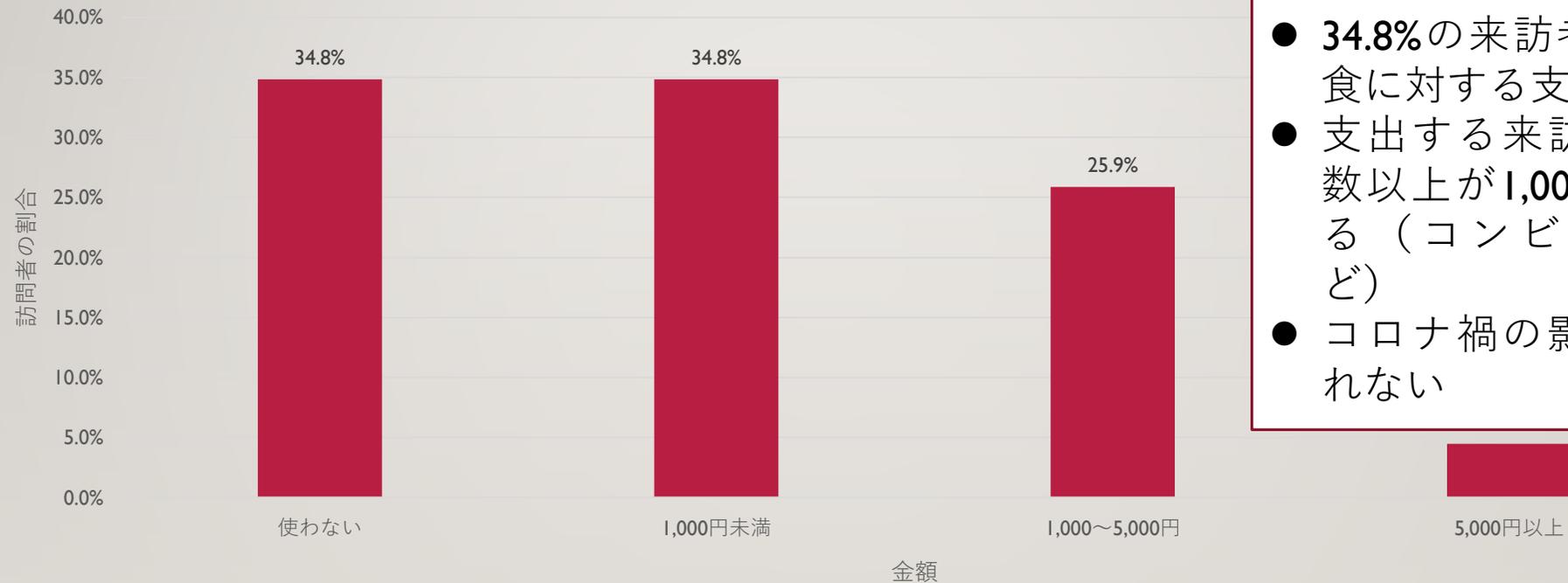
- ここまでのまとめ
 - **Google Trend**の分析からは、「春の四重奏」の観光地としての注目度は、いまだに低いが、訪問者は年々増えていることが見て取れる。
 - 旅行費用法を用いた消費者余剰の分析からは、「春の四重奏」は短期間において開催されるもののわりに、消費者余剰は大きい。
 - 来訪者アンケートから見た属性からは初めてくる人が多く、**20代40代はSNS**が訪問のきっかけ、シニア層では雑誌やテレビが多い。
 - 年代別のプロモーション手段の使い分けが必要
- 「春の四重奏」は観光資源としていくつかの課題もあるが潜在的な可能性はある。

3. 「春の四重奏」は所得の創出に
貢献しているのか？



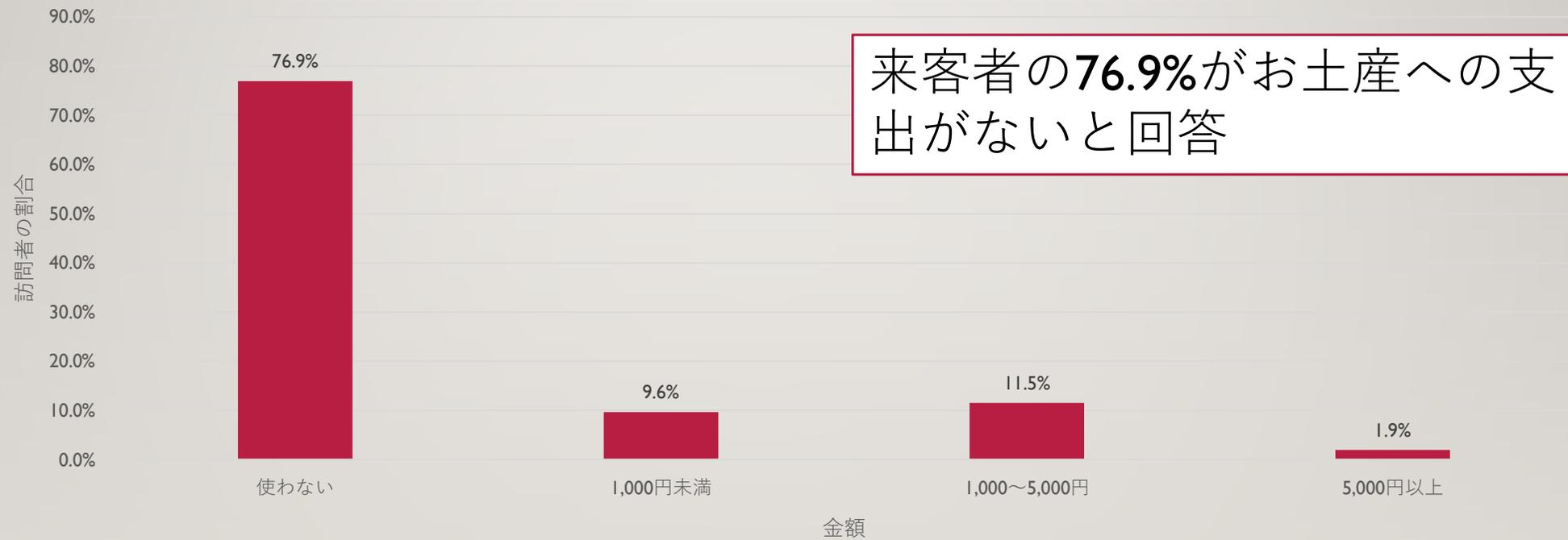
飲食の支出額 (N=112)

春の四重奏来訪者・事業所アンケートより



- **34.8%**の来訪者が朝日町では飲食に対する支出を行わない。
- 支出する来訪者についても半数以上が**1,000円**未満にとどまる（コンビニでの買い物など）
- コロナ禍の影響もあるかもしれない

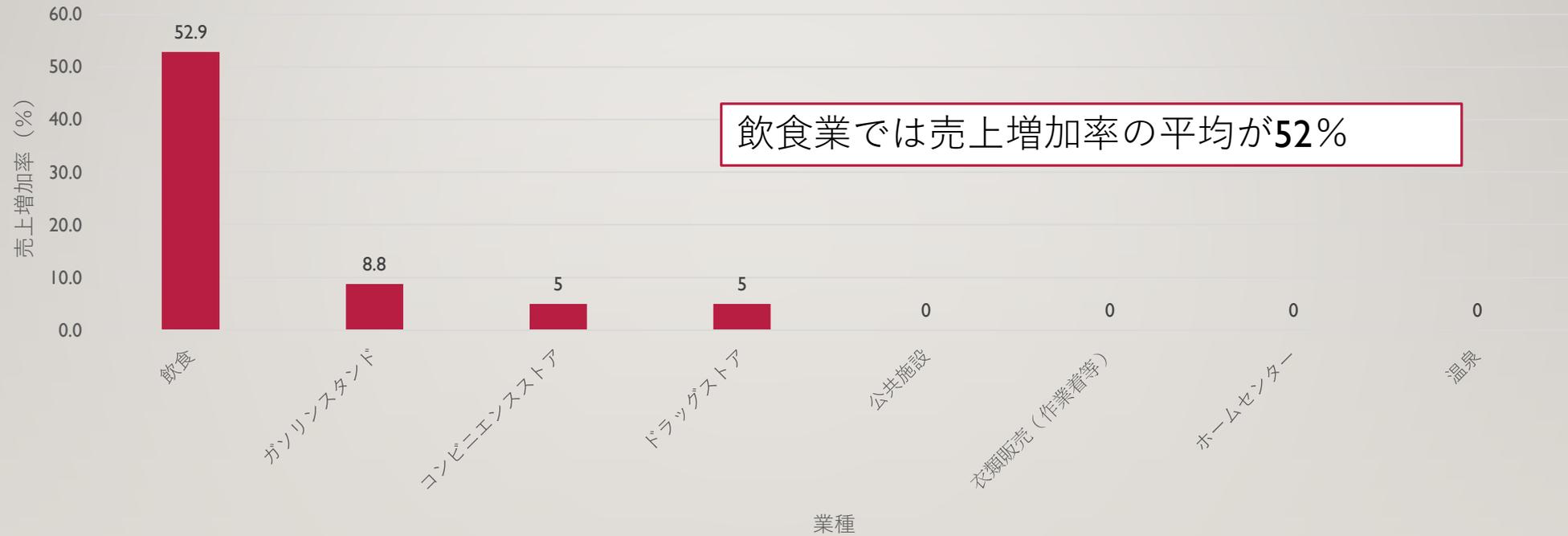
お土産の支出額 (N=104)



ガソリンスタンドの支出額 (N = 97)



春の四重奏付近の**20**店舗を対象とした、業種別の普段と比較した売上増加率



産業連関表を用いた生産誘発額の推計

- 産業連関表

- 一定期間における、地域（国、県、市町村等）経済において、財・サービスの流れを、産業間および産業と最終需要（家計・政府・海外等）間の取引として網の目の型で表示した一覧表で、この表の中核をなす部門と産業間のつながりを表す

- 春の四重奏への来訪者が町内で支出する飲食などの波及効果を産業連関表を用いて推計する

- 富山大学中村研究室が推計した「平成**27**年富山県市町村間産業連関表」を使用して、飲食支出、宿泊、お土産の支出に伴う生産誘発額を推計
- 各項目の支出額は、来訪者アンケート調査の平均支出額に今シーズンの来訪者数（=**49966**人）を乗じた値
- 生産誘発額 = 逆行列係数表 × 支出額

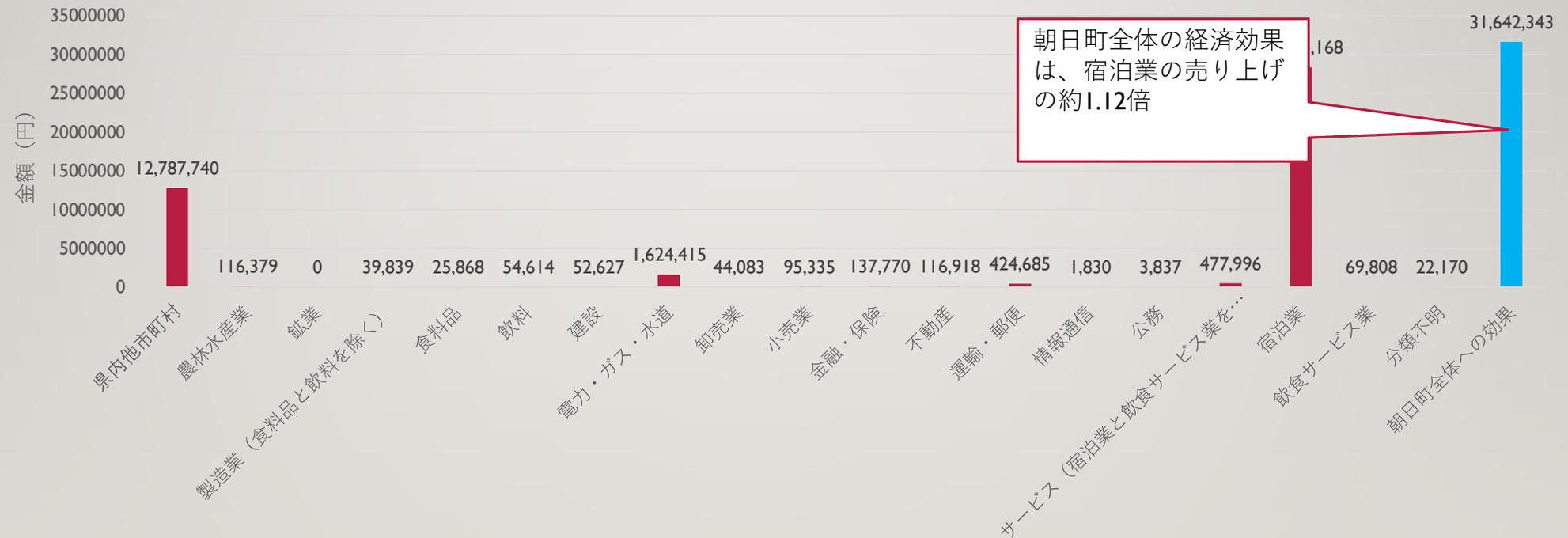
飲食業の売り上げがどのように波及するか。

アンケート調査と訪問者数調査より、**2021**年の「春の四重奏」来訪者の町内飲食支出額を**70,710,813**円と推計



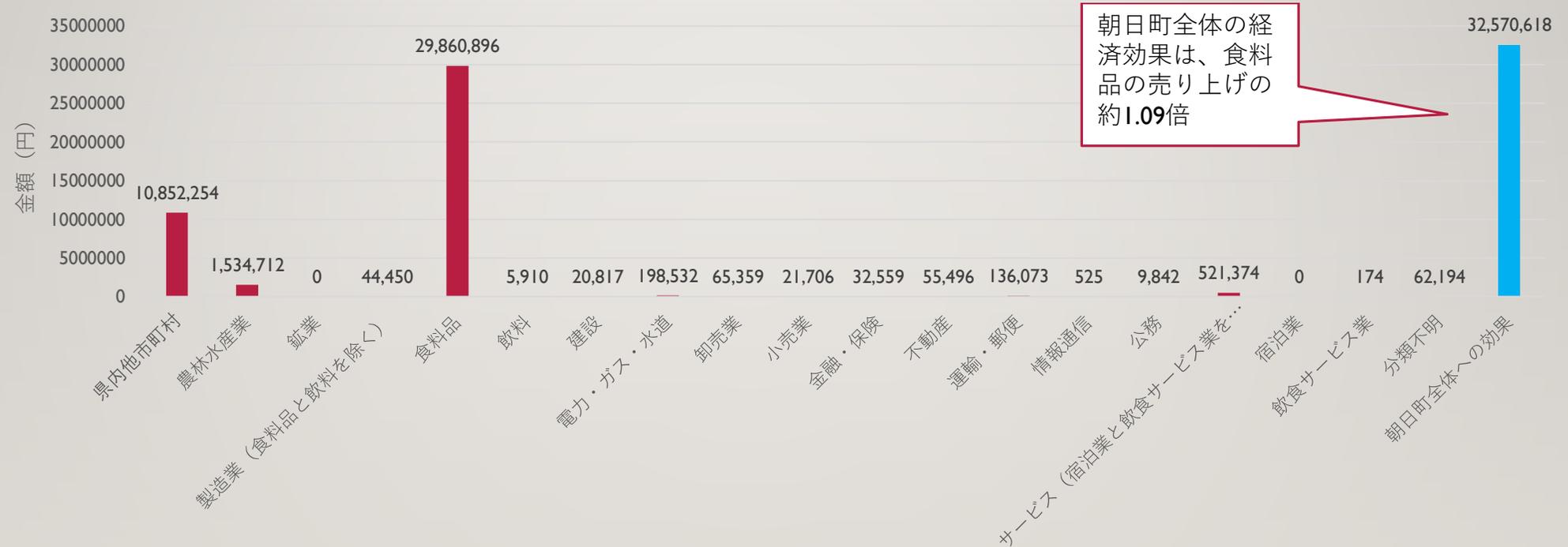
宿泊業の売り上げがどのように波及するか

アンケート調査と訪問者数調査、観光統計より、**2021**年の「春の四重奏」来訪者の宿泊支出額を**28,334,168**円と推計



食料品（お土産）の売り上げがどのように波及するか

アンケート調査と訪問者数調査より、**2021**年の「春の四重奏」来訪者のお土産（食料品）支出額を**29,787,423**円と推計



「春の四重奏」の町内経済への効果

- アンケート調査から町内でお金を使う仕組みができていない。
 - お金を町内で支出する人が少数に限られる。
 - 使うと回答された方も支出額が小さい。
 - **「春の四重奏」の期間では飲食業の売り上げが増えていた。**
 - 飲食業に町内経済への効果が見込める
- 産業連関表を用いた生産誘発額の分析では、宿泊・飲食・食料品に対する朝日町とその他の県内の市町村への波及効果は少ない
 - 飲食業に対しての波及効果が一番大きい

4. 「春の四重奏」を活用した朝日 町の活性化



これまでの分析からわかった課題

- 消費者余剰分析から「春の四重奏」の**潜在的な可能性は十分に大きい**ことがわかる。しかし、**注目期間がピンポイント**であり、また他の観光地と比べて**注目度が低い**。
- 春の四重奏への来客者によって売り上げが増加したのは飲食業、宿泊業、食料品だが、それ以外の朝日町の**他産業への波及は小さい**ため、朝日町への経済効果は少ない。

まとめ：課題を踏まえた提言

- 観光への満足度を上げるため
 - 「春の四重奏」で出店を行い、訪問客の需要にこたえ満足度を高めるとともに消費増加を図る。
 - ガイド・グルメマップを頒布することで、飲食の需要へ応える。また、他の観光地や飲食店などの利用につなげる。
- 注目度を増加させるために
 - ほかの市町村と連携して観光ルートを作成し、その中に朝日町の「春の四重奏」を入れることで県外からの訪問客を増加させる。
 - SNSやテレビ、新聞などを使い幅広い世代に春の四重奏を知ってもらう。

5. 参考文献

- 朝日町(2021)「地方創生と環境」富山大学地方創生環境学講義資料
- Google Trend <https://trends.google.co.jp> trends <2021年11月参照>
- 観光庁『旅行・観光消費動向調査』 <https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shouhidoukou.html> <2021年11月参照>
- 国立社会保障・人口問題研究所「市町村別将来推計人口」 <http://www.ipss.go.jp/>
- 富山県朝日町観光サイト <https://www.asahi-tabi.com/download/> <2021年11月参照>
- 富山県統計情報ライブラリー <https://www.pref.toyama.jp/sections/1015/lib/renkan/index.html> <2021年11月参照>
- 中村和之(2021)「平成27年富山県市町村間産業連関表」
- 浜松 聖樹 (2017)『消えてたまるか!朝日町—記者の役場体験記』北日本新聞社。
- 山崎清・佐原あきほ・山田勝也(2017)「地域経済循環分析手法の開発と事例分析」『ファイナンシャル・レビュー』131、97-121頁。